

令和 4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(簡水)水道料金収納徴収事業	会計名称	水道特別		担当課	上下水道課	
		予算科目	2 款 1 項 4 目	事業番号	9943	所属長名	長岡崇
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	平剛	
法令根拠等	水道法				実施期間	【開始】	令和/平成 2 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	水道使用者から水道料金を徴収し、水道事業の健全な運営を行うため、水道料金を徴収する。						
事業の対象	水道料金 (簡易水道利用者) から徴収する。			事業の目的	水道使用者情報を電算システムで管理するとともに、検針業務による使用量に応じて料金の賦課・徴収を行う。		
事業の内容 (整備内容)	偶数月に検針し使用水量を確定するとともに、奇数月は料金算定を行い、料金を請求する。料金の収納については、窓口払い、コンビニ収納及び口座振替により使用者から徴収する。公平及び公正の観点から滞納者に対しては、厳格に対応し、給水停止等の滞納整理を行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
直接事業費	4,334	4,926	19	0	0	4,625	総係費 (人件費除く)	千円	4334	4300	771	4625
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	4,334	4,926	19	0	0	4,625						
職員の人工 (にんく) 数	1.10	1.10				1.10						
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794						
※ 直接事業費+人件費	12,959	13,499				13,198						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	5年間の合計		
					5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000		
成果指標	指標	料金収入済額 ÷ 料金調定額 = 徴収率 (現年度分)	単位	⇒	区分年度	前年度	4年度	5年度	目標	毎年度		
			%		目標	99	99	99	99			
	指標設定の考え方	徴収率 (年度比較) を向上させることで、安定した水道事業経営が保たれ、水道利用者の公平及び公正の確保ができる。			実績	97.8	97.9					
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		滞納者に対して、電話及び個別訪問により生活状況の把握に努め、分納などによる未払い解消を進める。														
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	滞納者に対して、電話及び個別訪問により収納率の向上に努めた。また、一括納付が難しい滞納者に対しては、分納相談を行い、誓約により滞納額の減少に向けて、積極的に取り組んだ。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が						A
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4								
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1		4	合計点が	A					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が				A				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							3			合計点が
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B							
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3				合計点が	B					
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							3	合計点が	B		
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業の方向性				<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 簡易水道事業を運営するために必要不可欠な業務であるため、事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					4	合計点が	A		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4									合計点が
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1		4	合計点が	A						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が					A				
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1								3	合計点が		B
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B								
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3				合計点が	B						
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							3	合計点が	B			
所属長の課題認識																簡易水道施設は、中山地域に4地区、双海地域に1地区存在し、地域の生活基盤を支える重要な施設であるため、将来にわたり持続できるよう経営基盤の強化を図る必要がある。 経営の効率化や経費削減に並び、水道料金収納徴収業務も重要となる。

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	